



「まちと空き家の学校」卒業生等育成支援事業



日野市 まちづくり部 都市計画課 住宅政策係



目的

- 空き家を地域の資源として活用できる人材育成を推進
- 学校の受講生が空き家活用に取り組み、空き家での地域活動を増進
- 市民が日常の中で、空き家に関心を持てる環境を醸成



空き家活用イメージ(事例:杉の子ひろば 程久保8丁目)

出典:空き家まちづくりガイドブック イラスト:kaku-kaku lab.鹿毛 泰成

「まちと空家の学校」とは

- 空き家の活用に関する基礎的な知識を講座・実習にて身に付ける事業



実習2



R4年度 実施写真

これまでの取り組み

- 令和3年度から令和5年度まで活用者を育成する
「まちと空き家の学校」を開催
→延べ 67名の方が受講修了し、卒業

プログラム【全6回(計4日間)】



内容	
講義 1	活動拠点のつくり方を学ぼう
実習 1	空き家活用の現場見学
講義 2	小さな場づくりの提案づくり
実習 2	現場でお試し利用にトライ
講義 3	活用の企画提案づくり
実習 3	活用の企画提案の発表

使用したテキスト等



※令和元年度先駆的空き家対策東京モデル支援事業補助金を活用し作成

見えてきた課題

- 学校の卒業生で既に空き家活用を開始している卒業生がいる一方で、受講後も一歩踏み出せない方も多くいる。
 - ①実践経験が足りていない
 - ②空き家を貸してくれる空き家所有者の掘り起こしが行政主体では限界がある

卒業生の空き家活用の事例

名称 : 7858「nayagoya」
場所 : 日野市程久保8-32-7
活用者：個人
主な活動：
・移動販売の仕込み
場所
・地域食堂
・集客イベント
活用の時期：
2022年8月頃～



HP

令和6年度の取り組み内容

- ①市で空き家を借り上げて卒業生が主体となり
片付け → 整備 → 活用 までを実施
- ②卒業生主体で地域の空き家の掘り起こし
- ③行政職員向けの講習にて、日野市の取り組み説明
やD I Yの体験会の開催





制度概要(スケジュール)

日程	講義内容	実施項目	場所
8月	自己紹介 グルーピング 現地視察・企画立案	卒業生・活用者の交流 同じようなテーマを持った方々で 企画提案書の作成等	市会議室 空き家
9月	空き家の片付け・DIY に挑戦	活用する空き家の片付けと軽微な修繕をDIYで行う	空き家
8月 ～9月	地域の空き家を掘り 起こし	受講生が地域の空き家情報を収集し、 活用等が可能か市から所有者へ打診	各自
10月 ～12月	イベント実施	イベント内容・日程・集客も自分で行う ことにより、実践的な場を提供	空き家
1月	振り返り	まとめ	市会議室

事業実績と課題

<実績>

- 卒業生67名のうち10名が参加し、DIYやイベント等を実施
→卒業生企画のワークショップや作品展示には、延べ80名の方が参加
- 行政職員向け講習会には23名が参加



ワークショップの様子



行政職員向け講習会の様子

<課題>

- 卒業生主体で掘り起こしを実施した空き家は、どれも活用意向が確認できなかった。

今後の展開

- 実習で使用した空き家の活用を継続
→事業者が引き続き活用中
- 地域で掘り起こした空き家の新たな活用開始(1件以上)
→未達成のため下記を実施

活用可能性がある空き家へのアプローチ

- 対策計画改定の改訂に伴い、所有者アンケート(約800件)を実施
→活用意向の有無の項目を設定
- 管理不全の兆候のある空き家への訪問事業を令和8年度以降に実施